

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名     | キッズウィルplus |  | 公表日 |         | 令和8年1月7日                                  |  |
|----------|------------|--|-----|---------|---|--|
|          | チェック項目     | はい   | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点                                 |  |
| 環境・体制整備  | 1          | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 5   | 0       | 空間、スペースを利用している他、施設、公園なども利用                | 定員いっぱいの際は狭く感じている施設の定期利用を検討している                 |
|          | 2          | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 5   | 0       |   |  |
|          | 3          | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 5   | 0       | 生活段差はない                                   | 構造化になっていない箇所もあるバリアフリー化しすぎずに提供しているところもある        |
|          | 4          | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 5   | 0       |   | 収納スペースの確保                                      |
|          | 5          | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 5   | 0       | 落ち着く、ここでなら過ごせるという場所を提供している利用者に応じたの場所を提供   | 共有の場でもあるので、完全にという状況にはならない                      |
| 業務改善     | 6          | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 5   | 0       | 定期的に振り返りを行っているミーティングで話し合ったりとし、情報を共有       | 法人としても広く参画していく事も必要                             |
|          | 7          | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 5   | 0       | 保護者の意見から改善点を出し修正を行う                       |  |
|          | 8          | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 5   | 0       | ミーティングの開催（月1回以上）必要に応じて、機会を設けている           | 引き続きお互いに意見が出しやすい環境、雰囲気作りを心掛ける                  |
|          | 9          | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 0   | 5       |   | 必要に応じて検討していく                                   |
|          | 10         | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 5   | 0       | 職員が受けてきた研修を共有している                         | 全体での研修機会を増やしていくようにする                           |
| 適切な支援の提供 | 11         | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 5   | 0       | H P に公表している                               |  |
|          | 12         | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 5   | 0       | 検討会議を行い、作成している                            | 特性シートを分析し、反映させていくように取り組んでいる                    |
|          | 13         | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 5   | 0       | 検討会議を行い、作成している                            |  |
|          | 14         | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 5   | 0       | 周知、共有されるよう機会を設定している                       |  |
|          | 15         | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 5   | 0       | アセスメントツールを用いて、年単位での変化を把握していくようにしている定期的に実施 | 特性シートを分析しているが、特定の職員のみではなく広く使用し反映できる仕組みを検討している  |
|          | 16         | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5   | 0       | 移行支援に向けて情報収集を行っている                        | 該当する利用者がいないこともあり、進んでいない面もあるが今後に向けてより情報収集を進めていく |
|          | 17         | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 5   | 0       | 実施している                                    | 子どもたちにとってより良い活動となるようにさらに情報を収集していく              |
|          | 18         | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 5   | 0       | 前回の改善点から発展させていきつつ、内容を決めている                | 子どもたちにとってより良い活動となるようにさらに情報を収集していく              |
|          | 19         | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。   | 5   | 0       | 集団がしんどい子には、個別か少人数での活動に切り替えている             | スタッフ、場所も分断するので活動中の移行をスムーズに行えるように検討する部分もある      |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名         | キッズウィルplus |  | 公表日 |         | 令和8年1月7日                                |  |
|--------------|------------|--|-----|---------|---|--|
|              | チェック項目     | はい   | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点                               |  |
|              | 20         | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 5   | 0       |   | 子どもたちにとってより良い活動となるように、情報や支援方針を共有していく                       |
|              | 21         | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 5   | 0       | 情報共有はスタッフ、保護者からの意見も含めその都度行っている          | 事例検討へ必要かどうかの判断が、個々の感じ方ではなく、アウトプットしていく方法を検討していく             |
|              | 22         | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 5   | 0       | 日々の支援について記録を取り、次回への改善に繋げられるように検証を行っている  | 事例からどのように改善し、支援に繋げていくかを検討した内容をのれ無いうに共有を行っていく               |
|              | 23         | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 5   | 0       | 定期的に面談、日々の様子についてうかがい、見直しを行っている          |  |
|              | 24         | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。                                    | 5   | 0       | 自立支援、日常、地域、創作、余暇を組み合わせさせて活動を行っている       | 個々の特性や、利用日によりばらつきもあるので、全体的なバランスを考えて支援も組んでいけるように検討する        |
| 関係機関や保護者との連携 | 25         | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 5   | 0       | 選択肢を出すなど、自己決定を大切に支援をしている                | 決められたものより、選択肢から考えていく事のほうが好んでいるので、現状の方法をとりつつ活動をしていくようにする    |
|              | 26         | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 5   | 0       |   |  |
|              | 27         | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 5   | 0       | 学校での様子なども共有しながら連携をとるようにしている             | 不十分な点もあるので、全体的に支援体制をとれるように整えていく                            |
|              | 28         | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 5   | 0       | 下校時間の確認変更など、情報を共有している                   |  |
|              | 29         | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 0   | 5       | 該当なし                                    |  |
|              | 30         | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 0   | 5       | 該当なし                                    |  |
|              | 31         | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | 5   | 0       | 定期的に研修受講、事例を挙げて助言をもらうようにしている<br>柏学園での研修 | 助言、研修からの情報共有をその都度行っているが、そこから実際の支援にどう繋げていくか事例検証も合わせていくようにする |
|              | 32         | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。   | 4   | 1       | 機会がほとんどない                               |  |
|              | 33         | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 5   | 0       | 参加している                                  | 協議会を通してより交流、支援に繋げていけるように継続していく                             |
|              | 34         | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 5   | 0       | 日々の活動内容を伝えている                           |  |
|              | 35         | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | 5   | 0       | 情報を提供している                               | 情報がいきわたっていない   |
|              | 36         | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 5   | 0       |   |  |
|              | 37         | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5   | 0       | アセスメント、面談の機会を通して作成を行っている                | 子どもの意思という点については、検討する点がある                                   |
|              | 38         | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 5   | 0       | 支援内容の説明を行っている                           | 周知されていない<br>分かりにくいなどの問題点もあり<br>他の方法も検討中                    |
|              | 39         | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                      | 5   | 0       | 学校での様子から必要に応じて面談などを行っている                | 全体的にという状況ではなく、相談があった場合のみとなっている点                            |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名     |  | キッズウィルplus   |    |             |                               | 公表日   | 令和8年1月7日 |
|----------|--|--|----|-------------|-------------------------------|---|----------|
|          |  | チェック項目   | はい | いいえ         | 工夫している点                       | 課題や改善すべき点   |          |
| 保護者への説明等 | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 1  | 4           | 保護者同士、きょうだいでは、交流の機会を求められていない  | 情報交換会や、茶話会といった形式のほうがか求められていると感じているので、そのような機会を設けるようにしている |          |
|          | 41   | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 5  | 0           |                               |   |          |
|          | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   | 5  | 0           | カレンダー、予定表などで活動内容の報告をいしている     | 周知されていない<br>分かりにくいなどの問題点もあり<br>他の方法も検討中                 |          |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 5  | 0           |                               |   |          |
|          | 44   | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 5  | 0           | 文章、電話を含めて情報伝達を行っている           |   |          |
|          | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 5  | 0           | 地域での行事に参加<br>地域の施設を利用         |   |          |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 5  | 0           | マニュアルを見直し、共有を行う               | 家族へ周知されていない<br>分かりにくいなどの問題点もあり<br>他の方法も検討中              |          |
|          | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 5  | 0           | 分担などの含め確認を実施、訓練を行う            | 非常災害、感染症とそれぞれでの対応がスムーズに行えるように、訓練を繰り返す必要がある              |          |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。  | 5  | 0           | 年1回、保護者からの確認をとっている            |   |          |
|          | 49   | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 2  | 3           | アレルギーの子どもはいるが、保護者の確認を取っている    | 医師の指示書などの有無を確認していく                                      |          |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 5  | 0           | 定期的に安全計画を作成、点検内容についても協議を行っている | 家族へ周知されていない<br>分かりにくいなどの問題点もあり<br>他の方法も検討中              |          |
|          | 51   | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 5  | 0           |                               | 家族へ周知されていない<br>分かりにくいなどの問題点もあり<br>他の方法も検討中              |          |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 5  | 0           | その場面、状況は共有している                | 再発防止に向けての対策の共有を徹底していく                                   |          |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 5  | 0           | 研修を行っている                      |   |          |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5  | 0  | 了解、記載を行っている |                               |   |          |